

「訪日で感じたこと」

承德第一中学高中一年 孫菲

学校の手配により承德市と日本の柏市の親善交流活動に参加しました。長い間日本の印象といえば桜の花、富士山、寿司、和服、動画のことしか浮かばなかったけれども、このたびわずか1週間の短い間でしたが、この1週間のあいだで日本に対して全く新しい認識を持つに至りました

7月24が出発の日でした。バスと飛行機に揺られてついに日本の成田空港に着きました。迎えに来られたのは、柏市国際交流協会の皆様で、50～60歳の皆様で本当にご苦労様でした。またそこでバスに乗り込みましたが、今度は柏市庁舎でホストファミリーに会うためです。というのも我々はホストファミリーの家に滞在する計画になっていたからです。ほどなくバスは市役所に到着しましたが、聞くところによればホストファミリーの方々はずいぶん前に到着されたとのことでした。本当にお疲れさまでした。

バスを降りるとそれぞれ自分の名前が書かれている紙を持たされて、ホストファミリーのところに行きお互いに対面しました。私は老夫婦の家に住むことになりましたが、温和で親しみやすい方で心から好きな方だと思いました。引き続いて簡単に自己紹介をした後それぞれホストファミリーの家に向かいました。この老夫婦の家に到着してみると、私の部屋は玄関の近くで、畳の上にいると感慨無量でした。顔を洗い荷物の方付けるとお二人にお休みをいい床に就きました。叔母さんは中国語が少しできたので日本語が話せなくてもコミュニケーションができました。こうして一日目が過ぎました。

それから数日、手賀沼、全柏市の用水基地である北千葉導水見学センターの見学、雷門や浅草寺に行きました。浅草は日本的な特色をもつ数々のものを販売している長い長い一本の道で、日本に行けば必ず訪問すべきところです。さらに水上バスに乗り込み隅田川と東京湾を遊覧し、秋葉原の電気街にも行きアニメセンターを訪問、27日には柏市長に面会東大柏キャンパスを見学、昼食後、日本茶道を体験しました。茶道について説明してくださったのは私のホストファミリーの叔母さんでした。和服姿には独特の風格がありました。夕方市民歓迎会に参加し私たちは、あらかじめ準備していた出し物を次から次と演戯しました。日本人も同じように素晴らしい出し物をしましたが、このとき私は、言葉が通じなくとも文化はすべて通じ合えるものだというのを発見しました。しばらくして、私たちは外のテラスに行き日本の伝統的な踊りをしました。

もともと私たちには踊れないのですが、音楽と周囲の雰囲気が人々を誘い出してしまいました。これは日本人なら誰でも一緒に踊れる踊りなのです。みんなとても楽しく過ごしました。こんな様子が一日がまた終わりました。28日といえば、一番気分が高まった日でした。

た。というのもこの日はディズニーランドへ行く日でしたから。そこで一日遊び、たくさん催しものを楽しみ、案内して下さった方々が疲れ切ってしまうのではないかと心配しながらも、パレードまで見たのです。基本的にはすべての人気キャラクターが出てきました。実に壮観でした、この日は疲れましたがまた楽しい一日でした。

この1週間私たちは多くのことを体験し、多くのことに感動し、日本の伝統舞踏と茶道を体験し、日本国の発展と科学技術の発達さらには市民の熱い持てなしに感動し、日本の伝統的な礼儀を学びました。中でも私たちは日本の普通の家庭に滞在したことで日本文化を深く体験できました。私はお二人の老人と1週間を過ごすことができたことを大変うれしく思います。大変充実し大変楽しく過ごせました。この短い1週間では限られた範囲の見学しかできませんでしたが得られたことは決して少なくありませんでした。別れるときいつまでも名残惜しく、お互いに連絡方法を書留めあい、多くの人が目を潤ませていました。だんだんと離れてゆく皆さんを見ながら「さようなら」と心を込めて言いました。日本の叔父さん叔母さんさようなら、一衣帯水の隣国よさようなら。機会がありましたらまた来ます！